

第1学年 道徳科学習指導案

1 主題名 みんなちがって みんないい

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

B - (9) 友情, 信頼	友達と仲よくし, 助け合うこと。
-------------------	------------------

友達は家族以外で特に深い関わりをもつ存在であり、友達関係は共に学んだりあそんだりすることを通して、互いに影響し合って構築されるものである。児童にとって、友達関係は最も重要な人間関係の一つであり、友達関係の状況によって学校生活が充実するか否かが方向付けられることも少なくない。

低学年の段階においては、幼児期の自己中心性から十分に脱しておらず、友達の立場を理解したり自分と異なる考えを受け入れたりすることが難しいことも少なくない。しかし、学級での生活を共にしながら一緒に勉強したり、仲よく遊んだり、困っている友達のことを心配し助け合ったりする経験を積み重ねることで、友達のよさをより強く感じることができるよう指導していきたい。

(2) 児童（生徒）の実態について

本学級の児童は、明るく活発な子が多い。しかし人数が少ないため、単学級で一人を除いて保育所から同じメンバーで過ごしてきており、人間関係が固定化しがちである。そのため、仲の良い子のことはよく知っているが、その他の子に対しては興味が無かったり、少しのことで厳しい口調で注意したりと全体的に仲がよいとは言えない。また、ルールを守れなかったり、みんなに合わせて行動することができなかったりする子に対して「〇〇さんはできんと思う。」と言ったり、廊下に水がこぼれていたなら、「〇〇さんがしたと思う。」という発言が聞かれたりと、マイナスイメージを持っていて、よさや違いを認め合っているとは言えない。

4月からは、まずはみんなのことを知ることから始めようと思い、朝の会で日直クイズという、友だちの好きな物を当てるクイズを行っている。友だちのことで知らないことがあると、「そうなんじゃ。」や「ぼくも好き。」などというつぶやきが聞こえた。また帰りの会では、うれしかったことや楽しかったことのふりかえりの時間を取り、発表している。年度初めの頃は、自分のことだけ発表していたが、最近では友だちに言われてうれしかったことも聞かれるようになってきた。道徳の時間の「ちょうのともだち」「はしのうえのおおかみ」では、外見や能力で差別せず、誰に対しても温かい心で接することの大切さを理解し、互いに譲り合ったり助け合ったりしながら、誰とでも仲よくしようとする意識の高まりにつながってきた。また、道徳の時間の「ええところ」の学習を行い、友だちのよいところを見つけることのよさに気付けるようにした。その後、学級に「いいところの木」を掲示し、毎日帰りの会で友だちのよいところを発表し、ハートカードに書いて貼る活動をしている。1学期の頃は、仲の良い友だちのいいところを見つけることが多かったが、2学期には仲間外しにしていた児童のいいところを見つけて発表する姿が見られた。これからは友だちのよさにさらに気付いていけるようにしていきたい。

(3) 教材について

本資料「だめだめネコはこまったゾウ」は、次のようなお話である。自分と違う特徴を持つ動物をのけものにしていき、いつの間にかひとりぼっちになってしまったネコ。寂しい夜空を見上げながら、ゾウやキリンが体の特徴を生かして自分達を喜ばせてくれたことを思い出し、自分の過ちに初めて気付く。そしてネコの周りには自然と動物たちが集まり、友情の輪が広がるのである。

ネコの気持ちの変容を心のスケールや役割演技で考える活動を通して、よいところに目を向けることで友達と共に楽しく生活していくことができるということに気付かせ、ねらいとする価値に迫りたい。

3 ねらい

一人一人のよさや違いを認め合うことを通して、友達と仲よくしようとする意欲を育てる。

4 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童（生徒）の意識	指導上の留意点
導入	1 「だめだめネコはこまったゾウ」の読み聞かせを聞き、学習課題をつかむ。	○ネコにダメと言われたゾウやキリンは、どんな気持ちになったでしょう。 ・悲しい。 ・いやな気持ち。 ・なんでそんなこと言うんだ。 ○ネコは、違いをどのように思っているのでしょうか。 ・違いをよくないことだと思っている。 ・自分と同じじゃないといけな思っている。	○他の動物と違うということでのけものにされたゾウやキリンの深い悲しみに共感できるように読む。 ○ネコの心情をタブレットを使って表す。
展開	2 泣き出したネコの気持ちを考える。	○「わーん」と泣いたネコの気持ちを考えよう。 ・ごめんね。 ・キリンさんの首が長いことやゾウさんの鼻が長いことは、いいことなのに。 ◎ネコの気持ちが変わったのはどうしてだろう。 ・キリンさんの首が長いから木の実をとってくれたことを思い出した。 ・ゾウさんの鼻が長いから水あびさせてくれたことを思い出した。	○ネコの表情の変化から心情をつかませる。 ○ネコは泣きながら他の動物たちにどんなことが言いたかったのかを考えてワークシートに書かせる。 ○気持ちがつかみにくい児童には、書き出しのヒントを与える。 ○ネコの心情をタブレットを使って表す。

	<p>3 ゾウ・キリン、ネコの三者の立場になって、ロールプレイをして、それぞれの気持ちを考える。</p>	<p>○ネコが泣いているときに、キリンさんやゾウさんがよってきます。それぞれ何と言ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の実をとってくれたのに、水あびさせてくれたのに、ごめんね。 ・みんなごめんなさい。 ・いいよ。泣かないで。 	<p>○役割演技を通して、素直な自分の気持ちを言うことで、今後に生かせるようにする。</p>
終末	<p>4 学習を振り返り、本時のまとめをする。</p>	<p>○みんな同じだったら楽しいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しくない。 ・みんなちがうから楽しい。 <p>○ワークシートで本時の振り返りをする。</p>	<p>○ちがいを認め合い、仲良く生活していこうという意識を高める。</p>

5 評価の観点

一人一人の個性を大切にし、互いに認め合い、仲良くしていこうとする意欲をもつことができたか。